

令和4年度事業報告書

本編

一般社団法人 高知県UIターンサポートセンター

一般社団法人高知県UIターンサポートセンター(以下「センター」という。)は、県、市町村及び関係団体との連携協調のもと、移住促進及び各産業分野の担い手確保を図る取り組み等を通じて、地域地域の活力の維持や発展に寄与することを目的に、平成29年7月に設立し、同年10月から本格稼働した。

センターでは、設立当時から県移住促進課とワンフロアにオフィスを構え、県の施策と連携した取り組みを進めてきた。また、首都圏や関西圏からの人材誘致を強化するため、東京・大阪のスタッフを増員するなど体制の充実を図り、イベント参加者や相談者をきめ細かくフォローするなど、丁寧な相談対応を行ってきた。

令和4年度は、東京・大阪での大規模リアルイベントが開催できたことに加え、コロナ禍による都市部在住の方々の意識や行動の変化に対応する(段階的に移住確度を上げていく)オンラインイベントの充実などにより、年間のイベント参加者は対前年度比で137%となった。

各産業分野においては、都市部で開催されたイベントに移住コンシェルジュが参画するなど、各分野の担い手確保策との連携を推進してきた。

また、事業承継支援においては、中山間地域の個人商店の継業案件など、センターのポータルサイト等で発信し、複数の案件で後継者の確保につながった。

これにより、コロナ禍において様々な取組を実施して新規相談者を確保し、各産業分野の担い手確保策とも連携しながら、きめ細かな相談対応を行ってきた結果、過去最多となる1,185組1,730人を確保することができた。

令和4年度実績のうち、県及びセンターの窓口把握分の448組の内訳は、年代別では20代から40代が8割以上、移住前住所地は、関東が約4割、関西が約3割と、例年同様の状況になっている。また、6年連続で県内の全市町村において移住の実績があった。

※令和5年4月1日付で、一般社団法人高知県移住促進・人材確保センターから一般社団法人高知県UIターンサポートセンターに組織名を改称。

2 センター事業の実績

(1) 移住・就業相談

東京駐在のスタッフを中心に、各相談窓口において、全国からの移住・就業相談に対応するとともに、移住者向け会員制度「高知家で暮らし隊」の新規登録者には、電話連絡等で能動的にアプローチし、希望や現状を聞き取り、移住確度が高いと判断した方には、高知本部のスタッフが市町村や関係団体と連携して適切な移住プランを提案するなど、きめ細かな相談対応を行った。

また、就業の相談においては、各産業分野や市町村の人材ニーズ、また、継業案件など、あらゆる県内の仕事情報を「高知家で暮らす。」に集約し、相談者の希望や特性を踏まえた提案を行った。

センターが聞き取りを行った全ての相談者については、聞き取り内容や支援状況をデータベースに登録し、一旦は支援を完了した方にも、随時新しい情報を提供していくことで、移住の意欲を高めるためのサポートを継続している。

(評価)

移住相談は、新規移住相談者数は3,962人（対前年度比100%）、移住者向け会員制度「高知家で暮らし隊」の新規登録件数は840件（対前年度比104%）となった。

就職相談（UIターン者のみ）は、「高知求人ネット」の新規求職登録件数が261件（対前年度比83%）であった。

「高知暮らしフェア」や「移住まるわかり講座（オンライン）」などの参加者に対して、参加のお礼はがきの送付とコンシェルジュから電話連絡によるアプローチを行ったことによって、移住相談件数は昨年度並みでもあったものの、「高知家で暮らし隊」については昨年度を上回る新規登録者数を獲得した。

(2) 人材マッチング

本県での就職を希望して「高知求人ネット」に登録した求職者に対しては、センター自らが収集した人材ニーズに加え、ハローワークや福祉人材センター等の有する求人情報も活用してマッチングを図った。県内企業に対しては、高知県の「企業の魅力発信支援事業」へと誘導して、採用活動におけるWEB活用スキル向上を図り、都市部の人材へのアピールを支援した。

プロフェッショナル人材とのマッチングによる販路開拓や生産管理の向上など、県内企業の「攻めの経営」を支援する「高知県プロフェッショナル人材

戦略拠点事業」においては、2名体制のもと引き続き県内企業をきめ細かく訪問し、プロ人材のニーズの掘り起こしとマッチングを図った。

(評価)

企業訪問や、関係機関との定期的な会合での情報共有、市町村からの情報収集などにより、求人情報の掘り起こしにつなげ、「高知求人ネット」の新規求人登録件数は2,002件(対前年度比150%)と昨年度実績を大きく上回った。この新規求人数増は、コロナ禍後を見据えた企業の求人意欲の高まりはもちろんであるが、オンライン就職・転職フェアへの出展企業を夏開催分97社(前年度58社)冬開催分87社(前年度70社)と大幅に増加できたことも要因である。

新規求職登録者数(U I ターン者のみ)は、261名と昨年度を下回ったが、登録者一人当たり1.4件以上の案件紹介を行うなど丁寧なフォローを行ったことにより、就職マッチング数を91件(対前年度比114%)に伸ばした。

「高知県プロフェッショナル人材戦略拠点事業」では、県内企業を対象にプロ人材の活用に関する啓発セミナーや、都市部人材に高知県企業を知っていた高知県企業のビジョン達成や課題解決に向けた提言をいただくための高知県企業視察・交流ツアーを開催するなど、プロ人材ニーズを掘り起こしとマッチングにつなげる取組を進めた結果、令和4年度は20件(対前年度比111%)のマッチングに成功した。

(3) 情報発信事業

センターをはじめ県内各産業分野のU I ターンにつながるイベントやセミナーなどの取り組みを全国に広く周知するために、ポータルサイト「高知家で暮らす。」、「高知求人ネット」を活用した情報発信や、SNSを活用した情報発信、雑誌への記事掲載、新聞折込広告など、ターゲット別のアプローチを展開し、効果的な広報を行ってきた。

(評価)

令和4年度のポータルサイトのアクセス数(セッション数)は、「高知家で暮らす。」と「高知求人ネット」を合わせて599,314件で対前年度比85.4%となった。

WEBやSNSの有料広告は、本県への関心・移住意欲が高い層をターゲットに配信した。一方で、これまで通年で実施してきた幅広い移住検討者層を対象とした広告は行わなかったため、セッション数は前年度比で減少した。なお、年間のイベント参加者は対前年度比137%となった。

令和4年度は、市町村等の職員による「高知家で暮らす。」への記事掲載を勧奨・支援することで、特に空き家の記事掲載数が115件と増加したことで、空き家ページのページビュー数は前年度比130%まで増加した。

(4) イベント運営

移住検討者に対しては、県内市町村や就業分野の担当者と直接相談する場を提供するため、夏と冬に高知県最大のUターン・Iターン相談会「高知暮らしフェア」をリアルで開催した。

就職希望者に対しては、より具体的な高知での仕事情報を提供するために、夏と冬に「高知就職・転職フェア」をリアルで開催したほか、求人企業とのオンライン面談を実施する「オンライン高知就職・転職フェア」も夏と冬の2回開催した。

なお、「高知暮らしフェア」と「高知就職・転職フェア」は、いずれかのフェア参加を目的に来場した方が、もう一方のフェアにも参加しやすいように、夏冬共に同日同会場で開催した。

また、「移住まるわかり講座」として、移住検討初期層をターゲットに、移住をより具体的に検討するために必要となる情報や高知暮らしの魅力を伝える全16講座を9月から11月にかけて実施した。

このほか、センター主催の移住及び就職に関する個別相談会を合計31回開催したほか、県内市町村の広域連携相談会や、他団体が主催するイベントへの参加など、関係機関と連携した取組により新規相談者の確保に努めた。

(評価)

「高知暮らしフェア」については、新型コロナウイルス感染症の影響でリアル開催が危ぶまれる中ではあったが、移住検討者へ直接相談の場を提供するためにリアル開催とし、参加者は724名（対前年度比97.1%）と前年同様となった。オンラインイベントが日常化する中でも一定の集客ができたことで、リアル開催の重要性を再認識することができた。

「高知就職・転職フェア」の参加者は231名、「オンライン高知就職・転職フェア」の参加者は117名となった。特に、「オンライン高知就職・転職フェア」は会場が不要で費用が抑えられることから、リアル開催に比べて費用対効果が高く、今後も継続的に開催するべきと思われる。

なお、同日同会場で開催した「高知暮らしフェア」と「高知就職・転職フェア」については、延べ51組63名が両フェアに参加し、一定の効果があったと考えられる。

「移住まるわかり講座」は、講座全体では延べ498組525名、実参加で185組の方に参加いただき、参加者からは「移住後の暮らしのイメージがし

やすくて参考になった」など評価をいただいております、有益なイベントを開催することができました。また、実参加 185 組のうち 33 組が、講座終了後に開催した「高知暮らしフェア冬」に来場され、市町村と直接相談する機会をつくることができました。

(5) 人材育成事業

相談業務等に活かせるスキルを習得するために、センター職員の研修を実施した。また市町村の職員や移住相談員の育成を図るための研修を行った。

(評価)

センター職員に対しては、安心・安全な職場づくりのため、ハラスメント研修を導入。セミナーやディスカッションを交えた内容でハラスメントへの共通意識を持つことができた。また、リーダー以上の職員に対しては、管理職としての課題認識、部下の成長につながる目標設定など、管理職としてのマネジメント向上をはかるための研修を実施した。移住相談・仕事相談については相談者の意思決定に焦点をあてたカウンセリングスキル向上研修を実施し、自身と他人の特性の理解を踏まえた傾聴トレーニング、ペアロールプレイなどを行い、相談業務のスキルアップを図った。

市町村担当（相談員や職員）向けには、センターの取り組みについての説明や、グループワークによる情報交換、意見交換の場を設け、更なる連携を強化できた。

3 各産業分野の担い手確保の取組との連携

<農業分野>

高知県農業会議（就農コンシェルジュ）や、農業担い手育成センターと連携し、産地提案書に基づいた相談対応を進めた。

「高知暮らしフェア」でブースを設置したほか、オンライン農業ツアー及び県担い手育成センター研修生への移住支援の説明などを行った。

県の相談窓口を通じて移住された方のうち、農業に就業された方は 55 組で前年度比 4 組増であった。

●主な連携内容

- ・移住イベントへのブース出展（高知暮らしフェア）
- ・農業イベントへの集客協力、参加（就農出張相談、オンライン農業ツアー等）
- ・就農希望者への相談業務の連携
- ・「高知家で暮らす。」での PR 等

< 林業分野 >

高知県林業労働力確保支援センターや関係機関と連携し、都市部におけるフォレストスクールを活用した取り組みや林業大学校の紹介、合同相談会など、移住につながる取り組みを進めてきた。

「高知暮らしフェア」や都市部での移住相談会でブースを設置したほか、フォレストスクールで移住支援の説明などを行った。

県の相談窓口を通じて移住された方のうち、林業に就業された方は7組で、前年度比8組減であった。

●主な連携内容

- ・移住イベントへのブース出展（高知暮らしフェア）
- ・林業イベントへの集客協力、参加（こうちフォレストスクール 等）
- ・林業就業希望者への相談業務の連携
- ・「高知家で暮らす。」での就業情報やイベントのPR
- ・県事業（企業の魅力発信支援事業）の制度周知 等

< 漁業分野 >

一般社団法人高知県漁業就業支援センターとの連携を密に、住居や求人などの具体的情報を盛り込んだ漁村からの提案を積極的に発信するなど、移住につながる取り組みを進めてきた。

「高知暮らしフェア」や「高知県漁業就業支援フェア」でブースを設置したほか、漁業就業セミナーでの移住PRなどを行った。

県の相談窓口を通じて移住された方のうち、漁業に就業された方は6組で前年度比3組増であった。

●主な連携内容

- ・移住イベントへのブース出展（高知暮らしフェア）
- ・漁業イベントへの集客協力、参加（漁業就業フェア・オンラインイベント）
- ・漁業就業希望者への相談業務の連携
- ・「高知家で暮らす。」での就業情報やイベントのPR
- ・県事業（企業の魅力発信支援事業）の制度周知 等

<商工業分野>

新規大卒者の県内就職を促進していくため、「就職・転職フェア」で相談ブースを設けるなどの連携を行った。

また、個人商店の後継者ニーズの掘り起こしや可視化を、事業引継ぎ支援センターと連携して行い、「高知求人ネット」の多様な働き方を通じて発信した。

●主な連携内容

- ・「高知家で暮らす。」、「高知求人ネット」でのPR
- ・「高知家で暮らす。」でのネームクリア継業案件の発信
- ・「企業の魅力発信支援事業」の制度周知及びセミナー集客、専門家派遣の誘導 等

<福祉分野>

福祉人材センターと連携し、福祉人材バンクの求人情報を、「高知求人ネット」でも発信したほか、「高知暮らしフェア」で福祉分野の相談ブースを設けるなどの連携を行った。

●主な連携内容

- ・移住イベントへのブース出展（高知暮らしフェア）
- ・福祉イベントへの集客協力、参加（ふくし総合フェア）
- ・福祉就業希望者への相談業務の連携
- ・「高知家で暮らす。」での就業情報やイベントのPR
- ・県事業（企業の魅力発信支援事業）の制度周知 等

4 その他

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いたものの、相談会をリアルで開催する場合は十分な感染対策を講じ、また、やむを得ない場合はオンライン開催に切り替えるなど、感染状況に柔軟に対応した。

令和4年度事業報告の附属明細書について

一般社団法人法及び一般財団法人法に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

令和4年度事業報告書 資料編

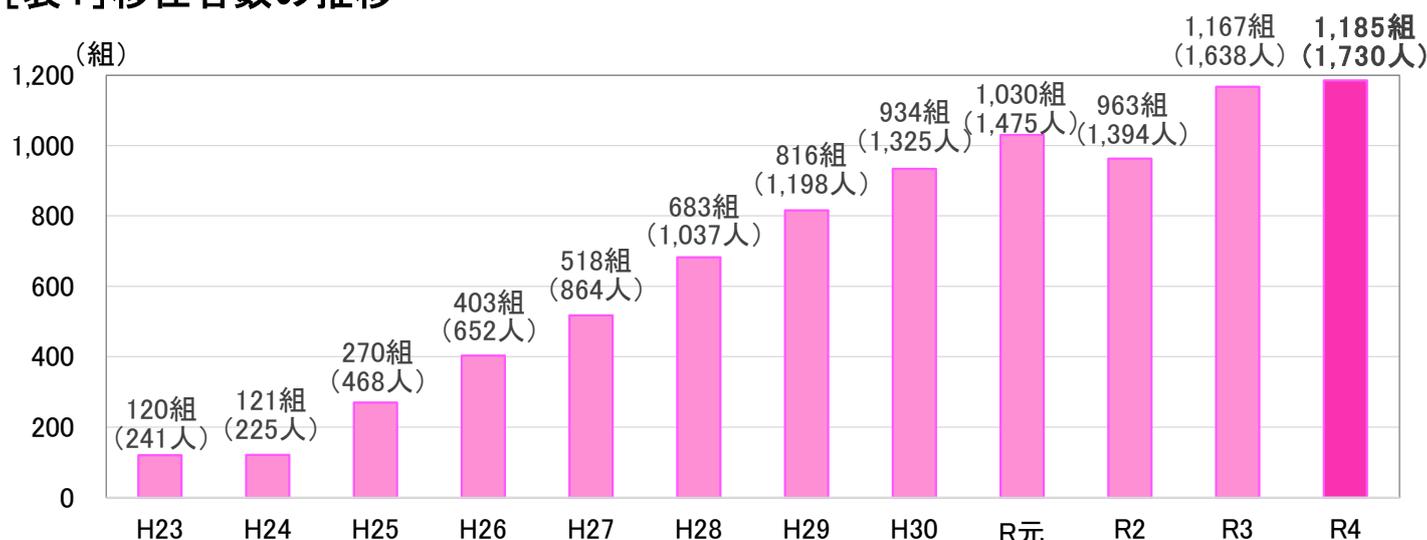
1. 総括、移住実績等

令和4年度の「県外から高知県への移住者数」(※)は、産業振興計画に掲げる令和4年度目標の1,225組に届かなかったものの、1,185組(1,730人)、対前年度比102%(106%)と、統計を取り始めた平成23年度以降で過去最多となりました。

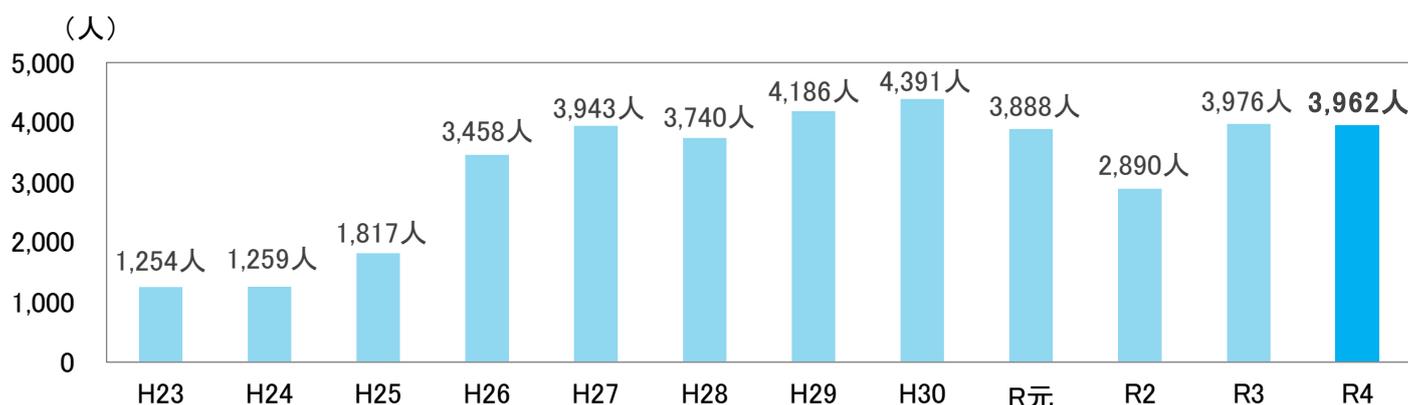
※市町村及び県((一社)高知県移住促進・人材確保センター<令和5年4月1日付けで「(一社)高知県Uターンサポートセンター」に名称変更>、各産業関係団体、高知県)が把握した移住者数(移住者数は各窓口での重複を除く。)

令和4年度移住実績

[表1] 移住者数の推移



[表2] 移住相談者数の推移



<令和4年度の傾向> ※県が把握した移住者の傾向(1,185組のうち448組)

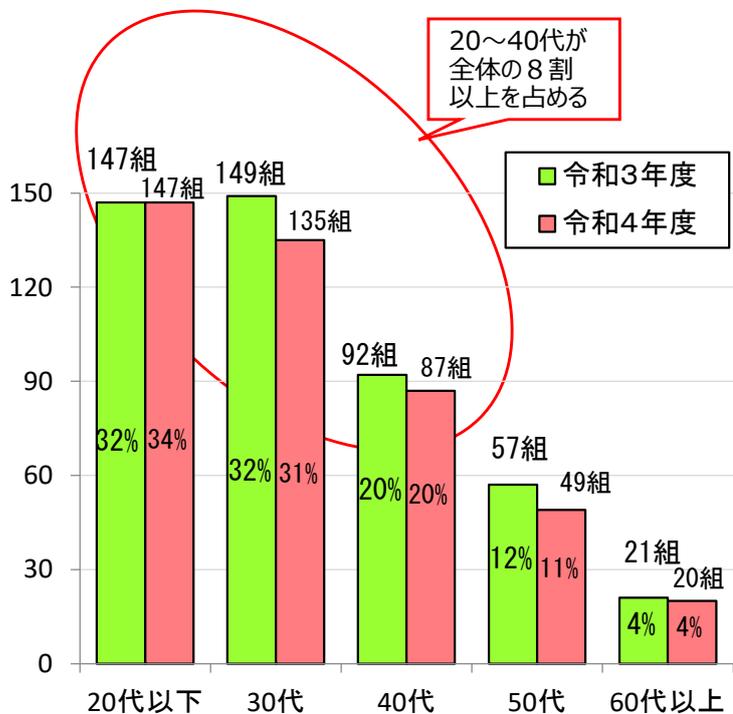
- ・年代別では、例年同様、20代~40代が8割以上となっている。
- ・移住前住所は、例年同様、関東が約4割、関西が約3割となっている。
- ・移住者の出身地では、Uターンがやや増加している。

(R2:103組、28% → R3:143組、30% → R4:157組、35%)

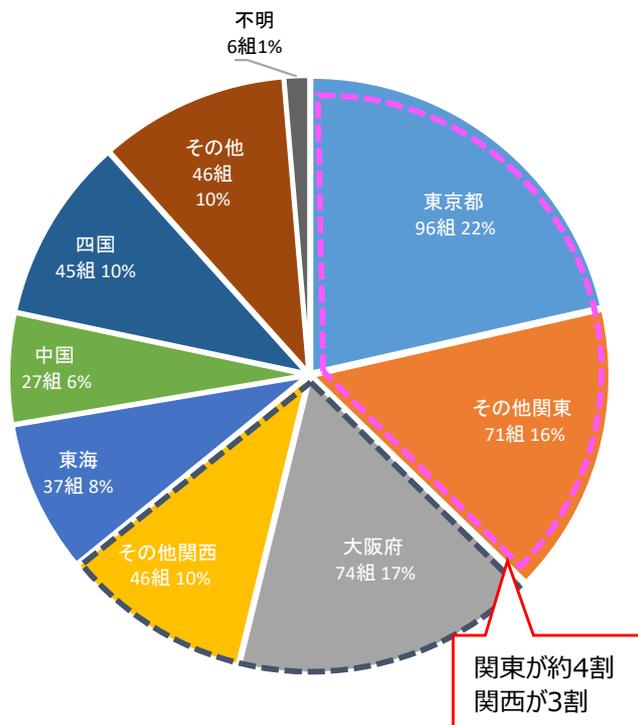
- ・6年連続で、県内の全市町村において移住の実績があった。

令和4年度 県窓口把握分(448組)の内訳

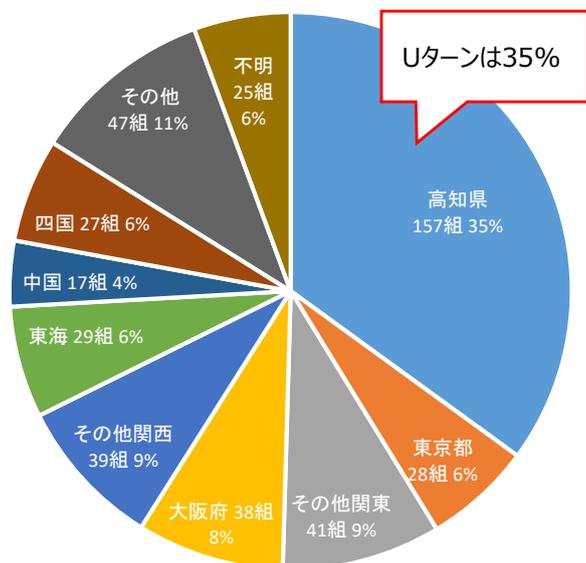
年代別移住組数 (不明を除く)



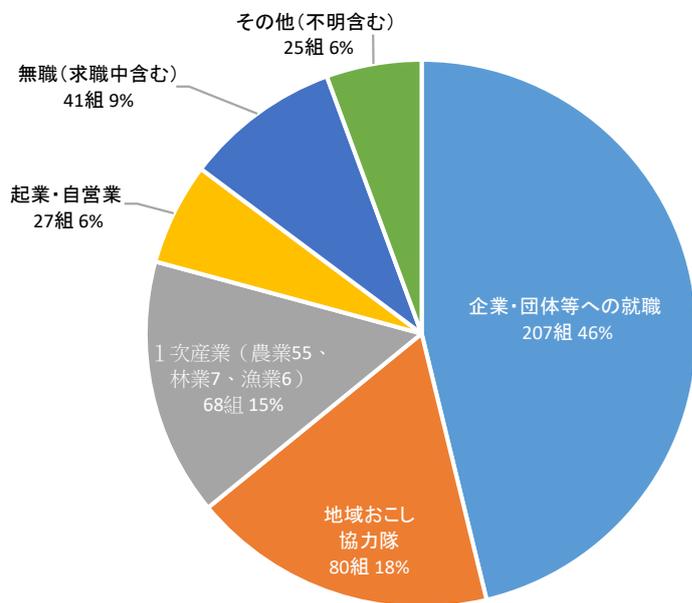
移住前住所地



移住者の出身地



移住者の就業状況



市町村別の移住者数

【令和4年度】

	組	(人)
1 高知市	348	(540)
2 安芸市	87	(111)
3 土佐市	79	(115)
4 宿毛市	66	(82)
5 四万十町	63	(95)
6 黒潮町	51	(70)
7 室戸市	50	(62)
8 四万十市	43	(74)
9 土佐清水市	42	(64)
10 東洋町	32	(44)



【令和3年度】

	組	(人)
1 高知市	324	(498)
2 四万十町	85	(114)
3 安芸市	70	(84)
4 黒潮町	64	(83)
5 土佐市	63	(97)
6 室戸市	58	(70)
7 宿毛市	52	(63)
8 四万十市	29	(53)
9 土佐清水市	29	(42)
10 香南市	28	(42)
10 南国市	28	(40)

<評価及び今後の対応>

- ・令和4年度は、移住を検討し始めた方や、自己実現型の移住を望む方など、移住希望者の傾向を踏まえたイベントをリアル・オンラインの両方で開催することにより、イベント参加者数は前年度より増加したものの、移住の検討熟度を高めている段階にある方も多く、新規相談者数が伸び悩んだ。
- ・一方で、センターのコンシェルジュが、イベント参加者や相談者をきめ細かくフォローし、ニーズを把握して市町村につなぐなど、丁寧な相談対応を行った。
- ・加えて、市町村においても、仕事と住宅の確保や現地訪問ツアー等に積極的に取り組んだことが、過去最多の1,185組の移住につながったものと考えられる。

2. センター事業の実績

(1) 移住・就業相談

コロナ禍前と同様に、東京・大阪での大規模リアルイベントが開催できたことに加え、段階的に移住確度を上げるためのオンラインイベントを充実させ、移住相談者を確保した。

また、センターのコンシェルジュが、イベント参加者や相談者をきめ細かくフォローし、ニーズを把握して市町村につなぐなど、丁寧な相談対応を行った。

【相談窓口】

高知 ■こうち勤労センター5階(月～金)

- ・マネージャー 1名
- ・移住・交流コンシェルジュ 6名(リーダー3名・スタッフ3)
- ・求人・求職スタッフ 6名(リーダー2名・スタッフ4)
- ・プロフェッショナル人材戦略拠点 2名

東京 ■東京オフィス(月～金) ※令和2年1月開設

■東京交通会館8階「ふるさと回帰支援センター」(火～日)

■高知県アンテナショップ「まるごと高知」(月・祝) ※コロナ禍により、現在休止中
 ・移住・交流コンシェルジュ 5名(チーフ1名・リーダー1名・スタッフ3名)

大阪 ■高知県大阪事務所内(月～金) ※平成30年7月開設

- ・スタッフ1名

■大阪ふるさと暮らし情報センター(毎月第4金・土)

- ・大阪スタッフが対応

移住相談

移住相談窓口や県外で開催する移住相談会等での新規移住相談件数

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
センター	R3年度	80	47	148	76	116	151	122	84	94	64	70	79	1,131
	R4年度	54	84	114	74	77	73	68	124	84	75	209	155	1,191
市町村	R3年度	124	122	288	301	263	464	156	242	315	161	197	212	2,845
	R4年度	128	172	378	222	204	228	248	247	210	436	160	138	2,771
合計	R3年度	204	169	436	377	379	615	278	326	409	225	267	291	3,976
	R4年度	182	256	492	296	281	301	316	371	294	511	369	293	3,962

対前年度比:100%

移住支援の会員制度「高知家で暮らし隊」新規登録件数



(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度	58	29	117	45	86	102	82	62	67	46	59	55	808
R4年度	37	53	90	40	57	60	48	90	70	41	138	116	840
インターネット	37	53	86	39	57	58	42	47	43	37	135	112	416
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
面談	0	0	4	0	0	1	4	40	25	1	1	3	74
電話	0	0	0	1	0	1	2	2	2	3	2	0	11
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

対前年度比:104%

就職相談

相談窓口や県外で開催する個別相談会、移住相談会等を通じた職業紹介申込みの件数。
 ※令和3年度より、職業紹介の対象者を「高知県へのUターン希望者及びUターンによって高知県へ移住して概ね1年以内の者」と限定したため、R3年度の登録者のうち県外在住の数と比較。

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度	29	15	25	26	17	31	34	22	17	40	28	29	313
R4年度	15	19	19	22	25	25	23	17	22	28	22	24	261
対前年同期比	52%	127%	76%	85%	147%	81%	68%	77%	129%	70%	79%	83%	83%

(2) 人材マッチング

本県での就業を希望して「高知求人ネット」に登録した求職者に対しては、センター自らが収集した人材ニーズに加え、ハローワークや福祉人材センター等の有する求人情報も活用してマッチングを図った。県内企業に対しては、高知県の「企業の魅力発信支援事業」の活用へと誘導して、採用活動におけるWEB活用スキル向上を図り、都市部の人材へのアピールを支援した。

無料職業紹介事業

2022年度は、コロナ禍で下落が続いた有効求人倍率が、社会経済活動が本格的に動き出したことを反映して全国的に上昇した。正社員の有効求人倍率（全国平均）が2022年7月より連続して1.0倍を上回るなど、かつての売り手市場に近づきつつある。その影響を受けて地方就職に向けられる目が減っているためか、求職登録者は、前年度より17%減少した。

その中でも、採用支援担当者による企業訪問や関係機関との定期的な情報共有などにより、新規求人獲得数を伸ばし、求職者への丁寧なフォローと積極的な求人提案を続けたことにより、前年度比114%の就職マッチング数をあげることができた。

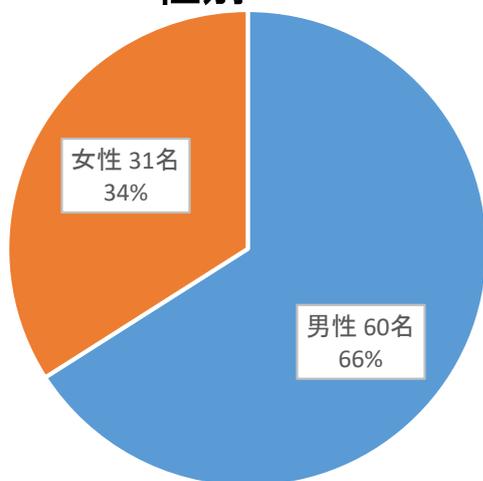
■就職マッチング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度	7	4	5	4	5	11	6	4	8	9	12	5	80
R4年度	8	8	8	8	5	8	8	8	5	4	8	13	91

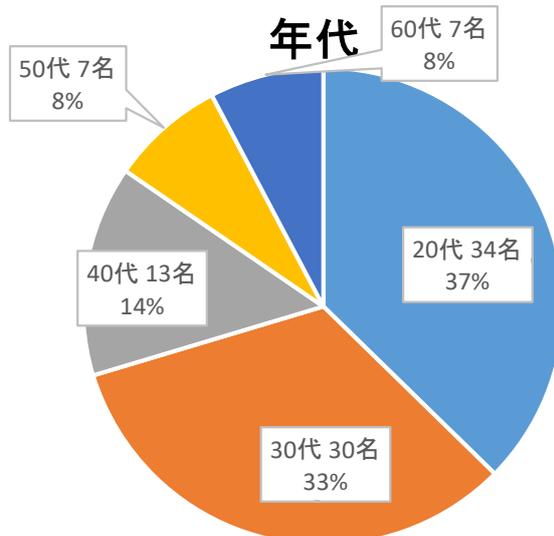
■就職マッチングの内訳

対前年度比:114%

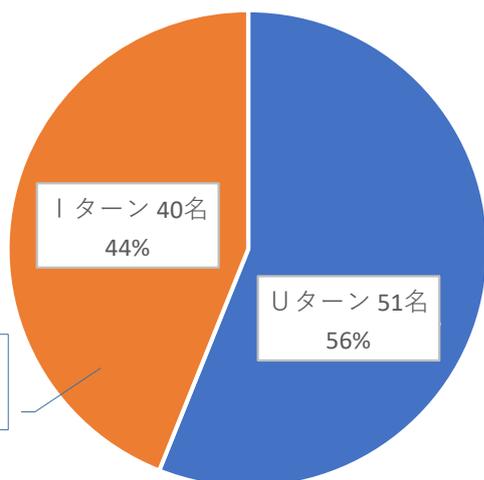
性別



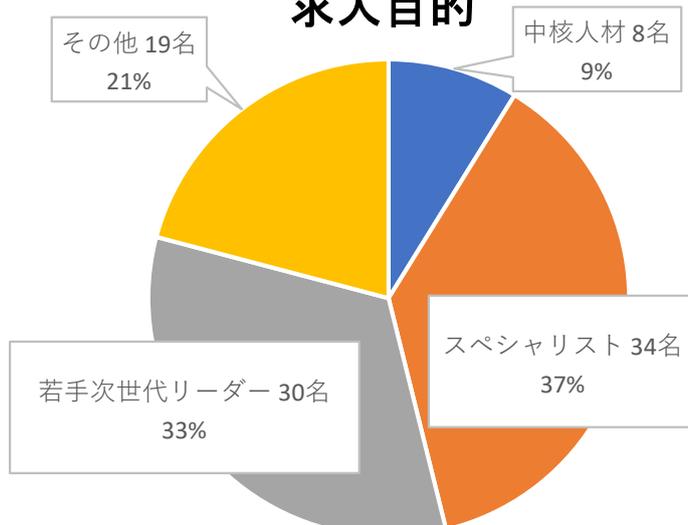
年代



U・Iターン別



求人目的



■ マッチング状況 (年間)

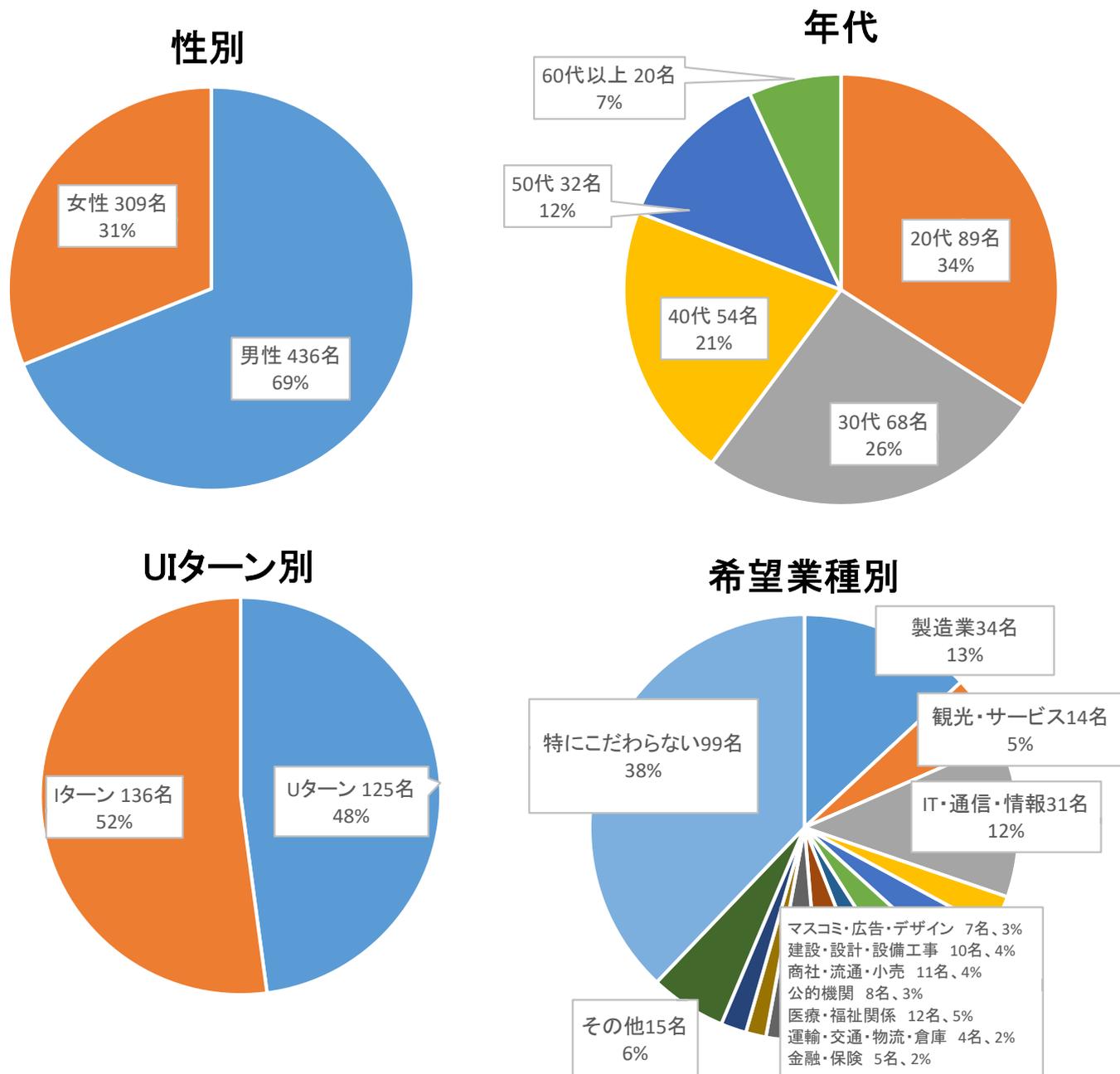
内容		(平成3年度) 令和4年度	対前年 年度比
就職マッチング件数(※)		(80件) 91件	113%
求人	企業からの人材確保に関する相談件数	(896件) 911件	102%
	新規求人登録件数	(1,335件) 2,002件	150%
求職	高知求人ネット年度末有効登録者数(※)	(1,464名) 839名	57%
	高知求人ネット新規求職登録者数(※)	(313名) 261名	83%

※今期からUIターン者数に変更。「高知求人ネット年度末有効登録者数」は、平成2年度以前の高知在住者による登録及び求人ネット開設以来ログイン履歴がない登録者を抹消したため、大幅減となっている。

■ 勤務地状況 (年間)

勤務地	人数	比率
高知市	53件	58.2%
安芸地域	2件	2.2%
物部川地域	18件	19.8%
嶺北地域	0件	0.0%
仁淀川地域	12件	13.2%
高幡地域	1件	1.1%
幡多地域	5件	5.5%
合計	91件	100.0%

■求職相談の内訳(高知求人ネット新規求職登録261名) (年間)



希望勤務地	人数	比率
高知市	190名	72.8%
安芸地域	6名	2.3%
物部川地域	23名	8.8%
嶺北地域	1名	0.4%
仁淀川地域	16名	6.1%
高幡地域	8名	3.1%
幡多地域	13名	5.0%
不明	1名	0.4%
高知県外	3名	1.1%
合計	261名	100.0%

■求職相談の内訳(高知求人ネット新規求職登録261名) (年間)

希望業種	人数	比率
製造業	34名	13.0%
観光・サービス	14名	5.4%
IT・通信・情報	31名	11.9%
マスコミ・広告・デザイン	7名	2.7%
建設・設計・設備工事	10名	3.8%
商社・流通・小売	11名	4.2%
公的機関	8名	3.1%
医療・福祉関係	12名	4.6%
農林水産業	11名	4.2%
運輸・交通・物流・倉庫	4名	1.5%
金融・保険	5名	1.9%
その他	15名	5.7%
特にこだわらない	99名	37.9%
合計	261名	100.0%

希望職種 (第一希望)	人数	比率
事務職	54名	20.7%
営業職	30名	11.5%
販売・サービス職	18名	6.9%
企画・マーケティング職	18名	6.9%
製造職	26名	10.0%
技術職 (電気・電子系)	5名	1.9%
技術職 (機械・機器系)	9名	3.4%
技術職 (建築・土木・プラント・設備系)	10名	3.8%
技術職 (素材・化学・医薬・食品系)	4名	1.5%
技術職 (IT・通信・WEB系)	24名	9.2%
クリエイティブ (メディア・デザイン)	15名	5.7%
専門職 (士業・金融・不動産)	1名	0.4%
農業従事者	12名	4.6%
林業従事者	2名	0.8%
漁業従事者	3名	1.1%
医療・福祉・教育職	12名	4.6%
その他	17名	6.5%
特にこだわらない	1名	0.4%
合計	261名	100.0%

希望年収	人数	比率
200万円未満	1名	0.4%
200万円以上～300万円未満	37名	14.2%
300万円以上～400万円未満	66名	25.3%
400万円以上～500万円未満	36名	13.8%
500万円以上～600万円未満	16名	6.1%
600万円以上～700万円未満	5名	1.9%
700万円以上～800万円未満	1名	0.4%
800万円以上	2名	0.8%
不明	97名	37.2%
合計	261名	100%

県内企業が高いスキルを持ったプロフェッショナル人材を採用することにより課題を解決し、「攻めの経営」へ転換できるよう、経営者セミナーや都市部人材の「高知県企業視察・交流ツアー」を開催した。

また高知県産業振興センターや地域金融機関等と連携し、県内企業とプロ人材のマッチングを進めた。

こうした取り組みの結果、令和4年度の新規マッチング件数は20件となった。

<活動内容>

- ・令和4年度は企業訪問527件、金融機関訪問172件の合計699件を訪問。プロ人材と企業の新規マッチング推進や事業の周知を図った
- ・高知県産業振興センターのほか、高知県工業会、高知県製紙工業会、高知県情報産業協会等と人材情報の交換・連携を行った
- ・令和4年10月31日から、四国銀行、高知銀行、幡多信用金庫と有料職業紹介事業者10社による金融機関連携を開始した

<セミナー、イベント実施状況>

■高知県企業視察・交流ツアー（令和4年7月14日～15日）

※6日11日 事前オンラインディスカッション）

1. 目的…都市部人材に高知県企業を知っていただき、高知県企業のビジョン達成や課題解決に向けたご提言をいただくとともに、将来のご活躍の場の一つとしてご検討いただく
2. 高知県企業参加2社、都市部人材参加12名
※参加の高知県企業…(株)あさの、(株)トミナガ
※都市部人材の主な勤務先…AGC、ソニー、旭化成、双日、三菱商事、ブリジストン、キリン等

■「プロ人材活用トップセミナー」（令和4年2月8日）

【内容】

1. 講演「外部人材の活用について」
宇治電化学工業株式会社 代表取締役
高知商工会議所 会頭
西山 彰一様
2. 高知で働くプロ人材9名とセミナー参加者による少人数のグループワーク
※参加プロ人材の（元）勤務先…三井物産、三菱商事、日清製粉、ANA、AGC、関西ペイント、ナブテスコ等

<令和4年度 プロ人材新規マッチング実績>

(実績20件の内、高知県企業への常勤は5件、高知県への移住は5件)

No.	採用企業業種	担当業務	元の勤務先	働き方		居住地
				勤務形態	勤務地	
1	運送業	経営・営業戦略	商社	常勤	高知市在住	高知市へUターン
2	クレーン、機械制御	営業	金属資源開発・採掘	常勤	高知市在住	高知市へIターン
3	鋳物製造業	ITによる生産効率改善	化学製品製造業	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	東海圏在住
4	エネルギー関連	人事制度改定	商社	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	埼玉県在住
5	エネルギー関連	情報管理体制構築	電機メーカー	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	神奈川県在住
6	食品製造業	営業	商社	副業・兼業	東京在宅勤務	東京都在住
7	倉庫業	人事制度改定	航空会社	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	神奈川県在住
8	製紙業	製品開発基礎研究、市場調査	電機メーカー	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	奈良県在住
9	情報通信	情報管理体制構築	コンサルティング	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	神奈川県在住
10	電子部品加工・組立	人材育成	金融機関	副業・兼業	月12日	いの町在住
11	鋳物製造業	労働安全管理	総合化学メーカー	副業・兼業	人材育成会社紹介	横浜市在住
12	製紙業	営業	クレーン、機械制御	常勤	高知市在住	高知市へIターン
13	鋳物製造業	マーケティング	電機メーカー	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	埼玉県在住
14	紙製品製造業	経営企画	ガラス製造業	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	茨城県在住
15	製紙業	営業	化学製品製造業	常勤	高知市在住	高知市へUターン
16	その他サービス業 (ドローン事業)	高知県OIP取組みに係る相談役	電機メーカー	副業・兼業	フルリモート	神奈川県在住
17	木製家庭用品 一般建築材製造卸	統括工場長	電機メーカー等	常勤	仁淀川町在住	仁淀川町へIターン
18	鋳物製造業	DX化推進	ガラス製造業	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	山口県在住
19	地域商社	監査業務	総合化学メーカー	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	神奈川県在住
20	ソフトウェア開発	人事制度改定、総務事務指導	商社	副業・兼業	月1回程度高知出張勤務及びリモート	埼玉県在住

(3) 情報発信事業

センターが運営するWEBやSNS等での情報発信に加え、ターゲットに応じたメディアを活用し、情報発信を行った。

ポータルサイトの運営

■R4年度累計アクセス数

- ・セッション数 599,314件(対前年度比85.4%)
- ・ページビュー数 1,646,262件(対前年度比93.0%)

高知U・Iターンサポートメディア「高知家で暮らす。」

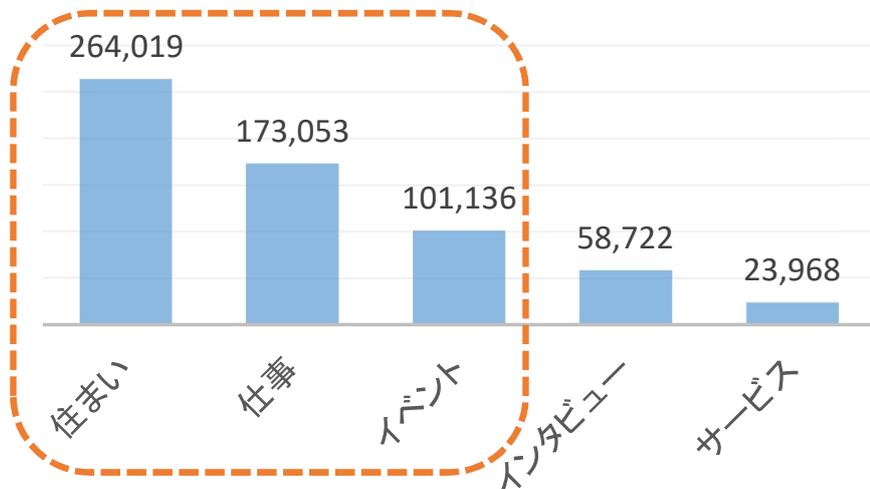


U・Iターン就職・転職サポート「高知求人ネット」



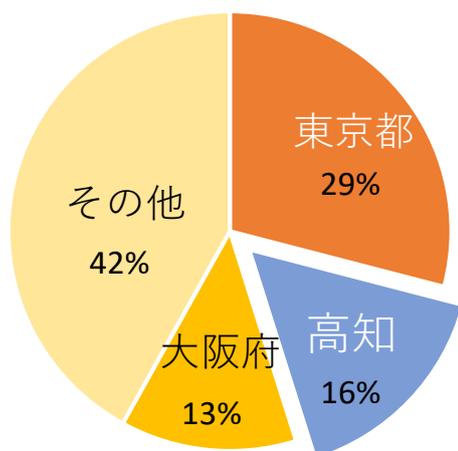
■カテゴリ別ページビュー数

住まいのページが最も閲覧数が多く、次いで仕事、イベントの順となっている。



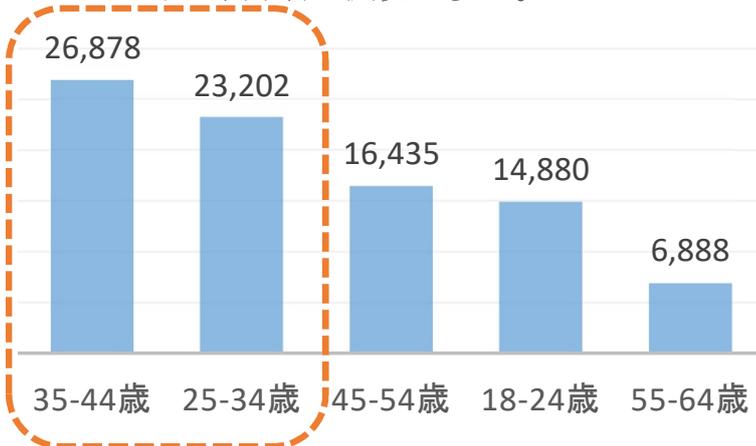
■カテゴリ別ページビュー数

約85%が県外からのアクセスとなっており、移住検討者の閲覧が多いと考えられる。



■年齢別セッション数

20才後半～40代前半が多く、ターゲット年齢層の閲覧が多い。



メールマガジンやSNSによる情報発信

■メールマガジン

- ＜移住メールマガジン＞ 毎月1回発行
- ＜人材メールマガジン＞ 2週間に1回発行

■SNSによる情報発信

- ・移住Facebook「高知移住・交流コンシェルジュ」
- ・人材Facebook「高知求人ネット」
- ・インスタグラム「とさターン！」

■県と連携した情報発信

- ＜高知県東京事務所の公式LINE「関東高知県応援団」との連携＞
 - ・LINEを通じた首都圏相談会やイベント情報の発信



- ＜移住促進課アプリ「ゆる県民倶楽部」との連携＞
 - ・アプリのプッシュ通知を利用した、高知県の暮らしの情報やイベント情報の発信



- ＜高知県広報広聴課Twitterとの連携＞
 - ・Twitterでのイベント情報の発信

その他、メディア等を活用した主な情報発信

ジャンル	媒体名	掲載月	内容
移住系WEBサイト	移住スカウトサービス「SMOUT」	4～3月	・イベント情報、地域のしごと情報などを掲載 掲載記事:92本
移住系WEBサイト	移住マッチングサービス「ピタマチ」	4～3月	・イベント情報、地域のしごと情報などを掲載 掲載記事:63本
TV・ラジオ	県内TVコマーシャル	6・11～3月	・高知就職・転職フェア(オンライン含む)の告知
	高知ケーブルテレビ「高知に引っ越ししました」	4・6・10・2月	・高知暮らしの魅力及び当センターイベントの紹介(先輩移住者をTV局に紹介)
デジタルサイネージ	帯屋町、高知県庁内等	6・7月	・高知就職・転職フェア(オンライン含む)の告知
同窓会等	関東高知県人会	4月	・会報誌で高知就職・転職フェア、高知暮らしフェアなどのイベントを紹介
	高知工業高校同窓会	4～3月	・ホームページに高知求人ネットのバナー掲載
	学芸高校会報誌	6月	・高知求人ネットのバナー広告
	土佐中・高校同窓会関東支部	7・12月	・会報誌でセンターの紹介
	近畿連合会総会	10月	・出席者名簿への協賛広告
	関東高知県人会	11月	・大懇親会の協賛広告
	中村高校同窓会	11月	・会報誌に高知求人ネットのチラシ等封入
	土佐中・高校同窓会	11月	・会報誌にオンライン高知就職・転職フェアのチラシ封入
	高知工業高校同窓会	2月	・会報誌に高知求人ネットの紹介記事を掲載

(4) イベント運営

従来（コロナ禍以前）のリアル形式での開催を基本に、一方で居住地を問わず気軽に参加できるメリットがあるオンライン形式も引き続き開催し参加者数を確保した。

R4	合計			リアル			オンライン		
	開催回数	組	名	開催回数	組	名	開催回数	組	名
フェア・イベント	32	1,708	1,958	19	1,112	1,362	13	596	596
個別相談	47	112	120	46	110	118	1	2	2
総計	79	1,820	2,078	65	1,222	1,480	14	598	598

センター主催・大規模フェア

■高知暮らしフェア

県内全域の市町村、就職、農・林・漁業、福祉、建設業、住まいなどの相談ができる、高知県最大の移住相談会。

夏・冬に、東京・大阪でリアル開催した。

■高知就職・転職フェア

県内企業の採用担当者などに相談できる、高知県最大規模の就職・転職相談会。

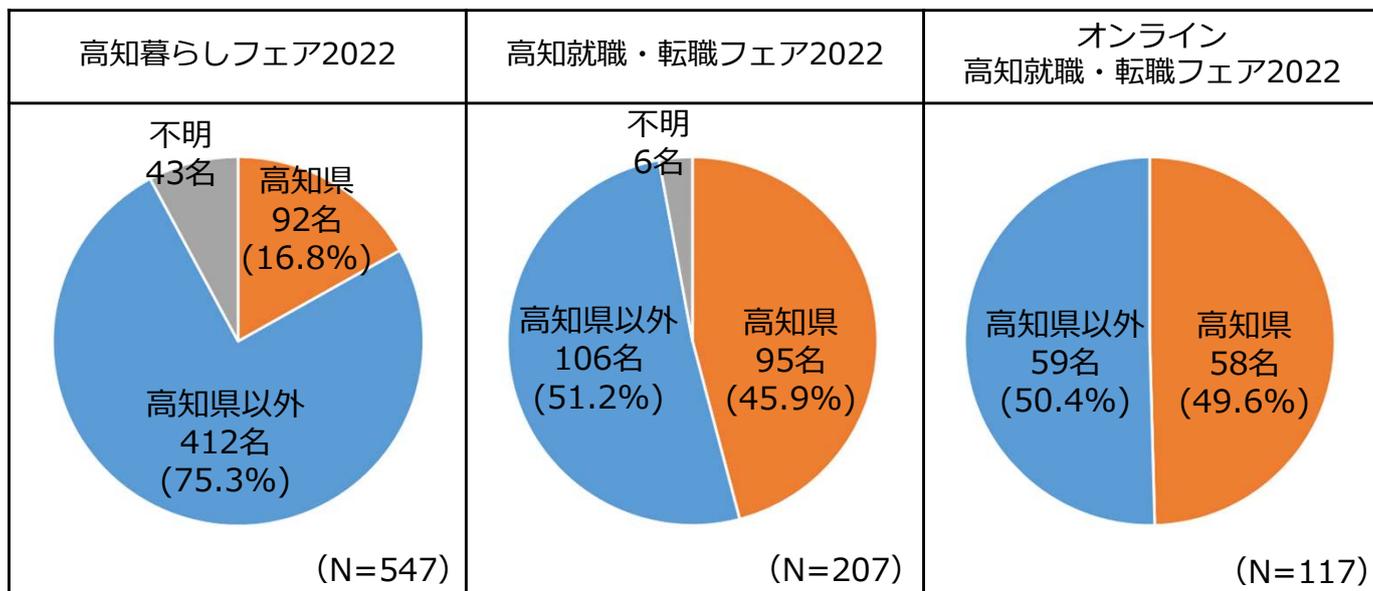
夏・冬に、東京・大阪にてリアルで開催。加えて、オンラインでも夏・冬に開催した。リアル開催分は約50社、オンライン開催分は約100社が出展。



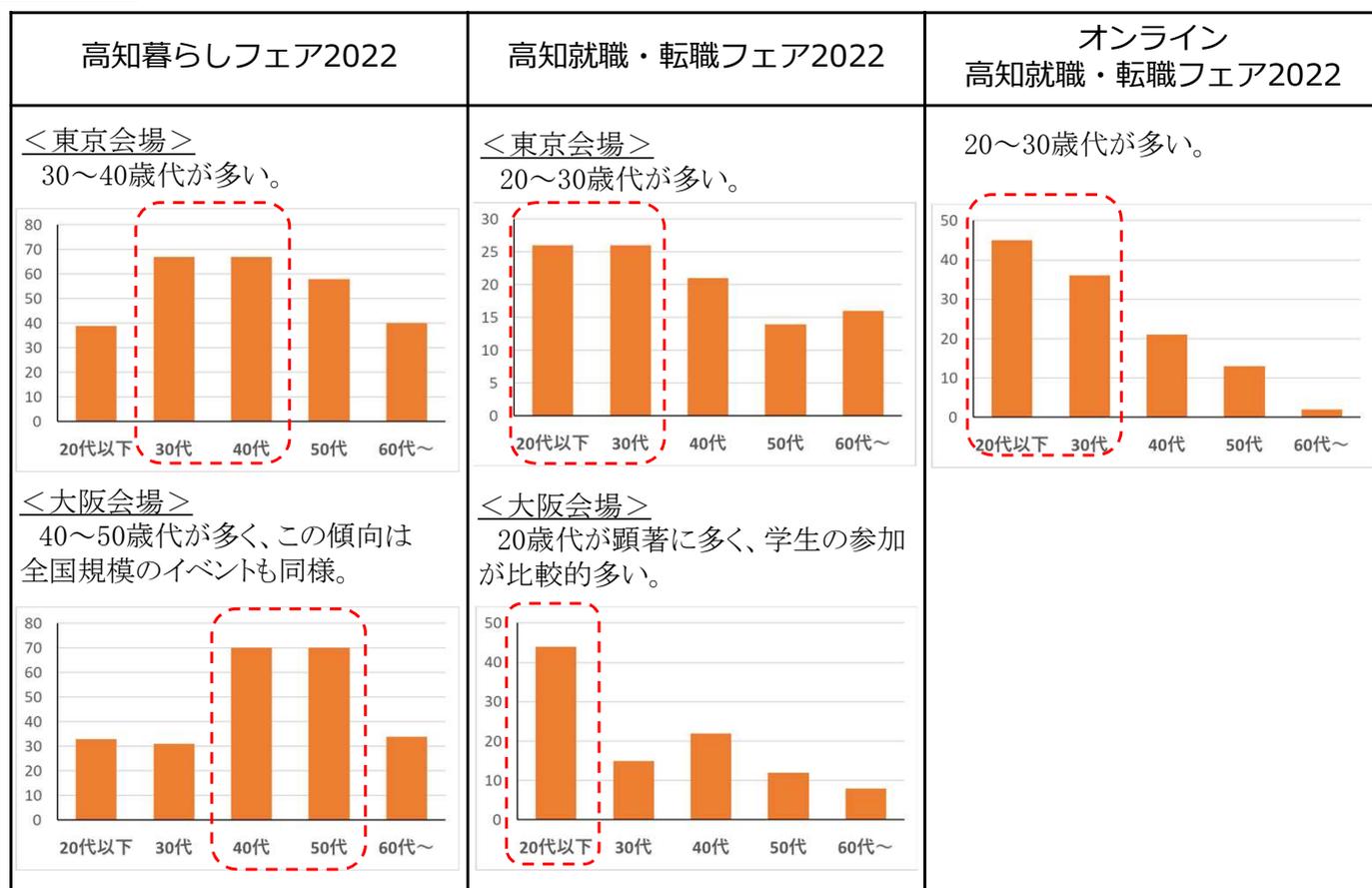
		夏				冬				年間合計
		東京	大阪	オンライン	計	東京	大阪	オンライン	計	
R元	暮らしフェア	188組 247名	128組 164名	—	316組 411名	227組 326名	129組 177名	—	356組 503名	672組 914名
	就職・転職フェア	85組 88名	87組 92名	—	172組 180名	85組 100名	72組 77名	—	157組 177名	329組 357名
	計	273組 335名	215組 256名	—	488組 591名	312組 426名	201組 254名	—	513組 680名	1001組 1271名
R3	暮らしフェア	—	—	437組 437名	437組 437名	80組 116名	139組 193名	—	219組 309名	656組 746名
	就職・転職フェア	—	—	74組 74名	74組 74名	36組 40名	42組 47名	60組 60名	138組 147名	212組 221名
	計	—	—	511組 511名	511組 511名	116組 156名	181組 240名	60組 60名	357組 456名	868組 967名
R4	暮らしフェア	169組 230名	143組 200名	—	312組 430名	126組 169名	91組 125名	—	217組 294名	529組 724名
	就職・転職フェア	53組 63名	51組 63名	66組 66名	170組 192名	52組 57名	51組 53名	51組 51名	154組 161名	324組 353名
	計	222組 293名	194組 263名	66組 66名	482組 622名 対前年同期比122%	178組 226名	142組 178名	51組 51名	371組 455名 対前年同期比99%	853組 1077名 対前年同期比111%

■ 来場者属性の比較と同時開催の効果

○ 出身地



○ 年齢層



○ 暮らしフェア及び就職・転職フェア同時開催の効果

<暮らしフェア⇒就職・転職フェア>

<就職・転職フェア⇒暮らしフェア>

	東京会場	大阪会場	合計
夏	33組43名	21組28名	54組71名
冬	17組23名	11組11名	28組34名
合計	50組66名	32組39名	82組105名

	東京会場	大阪会場	合計
夏	8組8名	12組14名	20組22名
冬	6組8名	17組21名	23組29名
合計	14組16名	29組35名	43組51名

総計	125組156組
----	----------

体系的イベント

移住検討初期層をターゲットに、移住をより具体的に検討するために必要となる情報や高知暮らしの魅力を伝える全16講座を9月から11月にかけて実施。延べ498組525名が参加し、参加者からは「移住後の暮らしのイメージがしやすく参考になった」など評価をいただいた。

また、実参加185組のうち33組が講座終了後に開催した「高知暮らしフェア冬」に来場され、市町村と直接相談する機会をつくった。

大テーマ	日程	テーマ	参加数
ステップ1 移住の不安をすっきり解消する	9/17 (土)	【講座1】おだちが行く「高知あるある」徹底検証	42組46名
		【講座2】あなたの代わりにおだちが聞く！「なりきり移住相談」	42組46名
		【講座3】先輩移住者が語る！「私はこうして不安を解消」	42組46名
		【講座4】気になることは今すぐ聞こう！「移住なんでも相談室」	42組46名
ステップ2 さまざまな暮らし方	10/2 (日)	【講座5】先輩移住者が語る！「私の高知での暮らし方」	41組42名
	10/8 (土)	【講座6】先輩移住者が語る！「私が高知を選んだワケ」	24組28名
ステップ3 さまざまな地域の魅力を知る	10/16 (土)	【講座7】地元民が深〜く語る！ 「この地域のココが良い（おらんく自慢）」東部×まんなか×れいほく編	28組28名
	10/22 (土)	【講座8】地元民が深〜く語る！ 「この地域のココが良い（おらんく自慢）」仁淀川×奥四万十×幡多編	34組34名
ステップ4 自分らしい働き方を見つける	10/23 (日)	【講座9】「起業×U・Iターン」のロードマップ-高まる地域での起業熱-	30組30名
	10/30 (日)	【講座10】様々なミッションを紹介！「地域おこし協力隊ミッション別トークリレー」	32組33名
		【講座11】地域おこし協力隊のリアルに迫る！「OB・OGが語る、台本なしのこだけ話」	30組32名
	11/2 (水)	【講座12】高知ならではの働き方を徹底検証！「私が高知で見つけた働き方」	31組31名
	11/5 (土)	【講座13】ゼロから一次産業を始めたい方必見！「私が円滑に一次産業を始めることができたワケ」	25組28名
	11/9 (水)	【講座14】Uターン、Iターン、嫁ターン歓迎！「高知のきらりと光る個性派企業」	14組14名
	11/16 (水)	【講座15】Uターン、Iターン、嫁ターン歓迎！「高知自慢の世界一、日本一企業」	15組15名
11/23 (水・祝)	【講座16】協力隊隊員数全国No.1 (※) の高知県が贈る！ 「協力隊募集市町村大集合！高知県地域おこし協力隊サミット」	26組26名	

移住、就職イベント

※全てオンライン形式

開催月日	名称	実績	
		組	名
4/23 (土)	地方公務員セミナー	49	49
5/21 (土)	オンラインプレセミナー（働く）	112	112
5/28 (土)	オンラインプレセミナー（暮らし）	110	110
2/1 (水)	移住ラジオ①	28	28
2/4 (土)	移住ラジオ②	12	12
3/12 (日)	公務員セミナー	46	46

個別相談会

・移住相談会

大阪21回(23組29名)

(4/22・4/23、5/27・28、6/24・6/25、7/22・23、8/26・8/27、10/21・10/22、11/25・26、12/23、1/27・28、2/24・25、3/24・25)

・就職相談会

東京:10回 大阪:9回 名古屋:5回 広島:1回 オンライン:1回。計25回(89組91名)

その他イベント

■市町村が主催するイベントへの協力

開催月日	広域・市町村	名 称
10/22 (土)	まんなか	高知まんなか移住体験ツアー
11/5 (土)	幡多	ハタカラOLツアー
11/12 (土)	奥四万十	Meets奥四万十冬
11/22 (火)	高知市 (こうち二段階移住)	いごっそう & はちきんナイト3
12/17 (土)	高知市 (こうち二段階移住)	いごっそう & はちきんナイト2 ☆カツオと地酒と移住のリアル
1/27 (金)	津野町	KOCHI TSUNO FAN FESTA
2/5 (日)	まんなか	高知まんなか子育てくらし

■移住促進課が主催するイベントへの協力

開催月日	名 称
7/2 (土)	ゆる県民倶楽部オンラインフェス (ゆる〜く高知を「知る・聞く・笑う」)
11/6 (日)	ゆる県民倶楽部オンラインフェス (嫁ターン)
11/24 (木)	ゆる県民倶楽部オンラインフェス (空き家 & D I Y)
1/29 (日)	ゆる県民倶楽部オンラインフェス (大感謝祭)

■その他団体等が主催するイベントへの参加

開催月日	名 称	開催月日	名 称
5/20 (金) ~6/30 (木)	みんなの移住ウィーク オンライン相談	10/15 (土)	四国フェア
5/22 (日)	四国移住・就職相談会	11/11 (金)	関東県人会大懇親会
6/14 (火)	みんなの移住ウィーク PRオプション②	11/18 (土)	ふくし総合フェア
7/31 (日)	おいでや! いなか暮らしフェア2022	11/23 (水・祝)	イナコレ
8/22 (月)	四国移住相談会2022夏	11/26 (土)	漁業セミナー
9/3 (土)	高知で漁師! りょうマンフェア	12/14 (水)	愛媛県×高知県MIXセミナー
9/4 (日)	こうちフォレストスクール	1/14 (土) ~1/15 (日)	JOIN
9/23 (金) ~9/25 (日)	カンテレ田舎暮らしフェス	1/21 (土)	「高知で暮らす」を深掘りする交流会
9/24 (土) ~9/25 (日)	ふるさと回帰フェア	1/27 (金)	山の仕事体験講習
10/1 (土)	こうちフォレストスクール	2/23 (木・祝)	イナスタ
10/1 (土)	四国移住相談会	2/26 (日)	いいね! 地方の暮らしフェア
10/2 (日)	第15回土佐の日	2/26 (日)	四国移住相談会2022夏
10/8 (土)	中四国フェア	3/19 (日)	高知県立高等技術学校説明会

(5) 人材育成事業

(1) センター職員研修

■基礎研修

日 程:7/5(金)

場 所:こうち勤労センター4階会議室(県外オフィス職員はオンライン参加)

講 師:アビリティセンター 白石護

内 容:管理職の課題認識、部下の成長につながる目標設定など、管理職としてのマネジメント向上をはかるための研修を実施

日 程:9/8(木)

場 所:こうち勤労センター4階会議室(県外オフィスの職員はオンライン参加)

講 師:オフィスKojō 小笠原豊道

内 容:職場のハラスメントについての研修

■キャリアカウンセリングスキルアップ研修

日 程:6/2(木)

場 所:こうち勤労センター4階会議室(県外オフィスの職員はオンライン参加)

講 師:株式会社あしあとみらい研究所 田中道博

内 容:相談者の自己理解に焦点を当てた、キャリアカウンセリング力向上を図るための研修を実施

日 程:8/18(木)

場 所:こうち勤労センター4階会議室(県外オフィスの職員はオンライン参加)

講 師:株式会社あしあとみらい研究所 田中道博

内 容:相談者の自己理解・意思決定の支援に焦点を当てた、キャリアカウンセリング力向上を図るための研修を実施

(2) 市町村職員等研修

■令和4年度第1回移住に関する情報交換会

日時:4/27(水)

場所:高知勤労センター4階会議室(会場及びオンラインで実施)

対象:市町村職員及び移住相談員

内容:(旧)高知県移住促進・人材確保センターの取り組みについて説明
情報交換グループワークでの意見交換

令和5年度 事業計画書

一般社団法人 高知県移住促進・人材確保センター

令和5年度事業計画

1 基本的な方針

高知県の移住促進・人材確保の取り組みは、「第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第4期高知県産業振興計画」において、令和5年度に年間移住者1,300組という目標を掲げ、一般社団法人高知県移住促進・人材確保センター（以下、「センター」という。）を中心に、県、市町村及び関係団体との「オール高知体制」で、担い手確保策と移住促進策を一体的に推進してきた。

その結果、高知県への移住者数は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、963組1,394人と産業振興計画に掲げる目標、1,075組を下回ったものの、平成23年度以降、増加傾向を維持している。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、対面での移住相談会やイベントをコロナ前とほぼ同様に開催することができた。また、コロナ禍を経て定着してきたオンラインイベントも充実させた。

このように、コロナ禍を契機とした都会に住む方々の意識や行動の変化に的確に対応したことで、本県への移住者数は、令和5年2月末現在で992組となっている。

過密な大都市を離れ地方で暮らしたいと移住を希望する者は、引き続き増加している。また、オンラインツールの充実やテレワークの普及等により、現在の仕事を変えることなく移住ができる環境が整いつつあるなど、「地方への新しい人の流れ」を呼び込む好機は続いている。

一方、中山間地域では、人口の流出による集落機能の低下や地域産業の衰退など厳しい状況が続いており、地域の活力を取り戻し、住民の皆様が将来に希望をもって暮らし続けられる地域として再興することが喫緊の課題となっている。

令和5年度は、中山間地域に移住者を呼び込むための柱となる、地域地域の様々な人材ニーズの掘り起しやセンターのコア業務である相談対応を強化するため、組織体制の強化を図り、年間移住者1,300組の目標達成に向け取り組んでいく。

2 組織の改編

主な改正点

○センターの名称変更

令和5年4月1日をもって「(一社)高知県移住促進・人材確保センター」から「(一社)高知県UIターンサポートセンター」へ名称を変更する。

これまでの活動の中で、「移住にはUターンは含まれていないと思っていた」あるいは「移住促進・人材確保という言葉は語感が強く、気軽に相談しにくい」などのご意見もいただいていたことから、幅広い層の方に、UターンもIターンも気軽に相談していただける「支援機関」であることがわかる名称とする。

○相談対応、マッチング力の強化

移住とUIターン就職の一体的な支援に加え、受皿となる求人や多様な働き方に関する情報の掘り起こし、地域の最新情報の収集を一元的に行う体制を整備し、センターの基幹業務である相談業務、マッチング業務の一層の強化を図る。

具体的には、人材確保グループの県内企業等の人材ニーズの発掘及び収集に関する業務、無料職業紹介に関する業務等を移住・就職相談グループへ移管し、「移住・就職相談グループ」を「相談対応グループ」へ改編する。

併せて、相談対応グループに移住・就職相談を統括するチーフ及び人材ニーズの発掘、職業紹介事業を統括するチーフを新たに配置する。(人材ニーズの発掘等を担うチーフは当面の間はマネージャーが兼務)

○移住コンシェルジュ

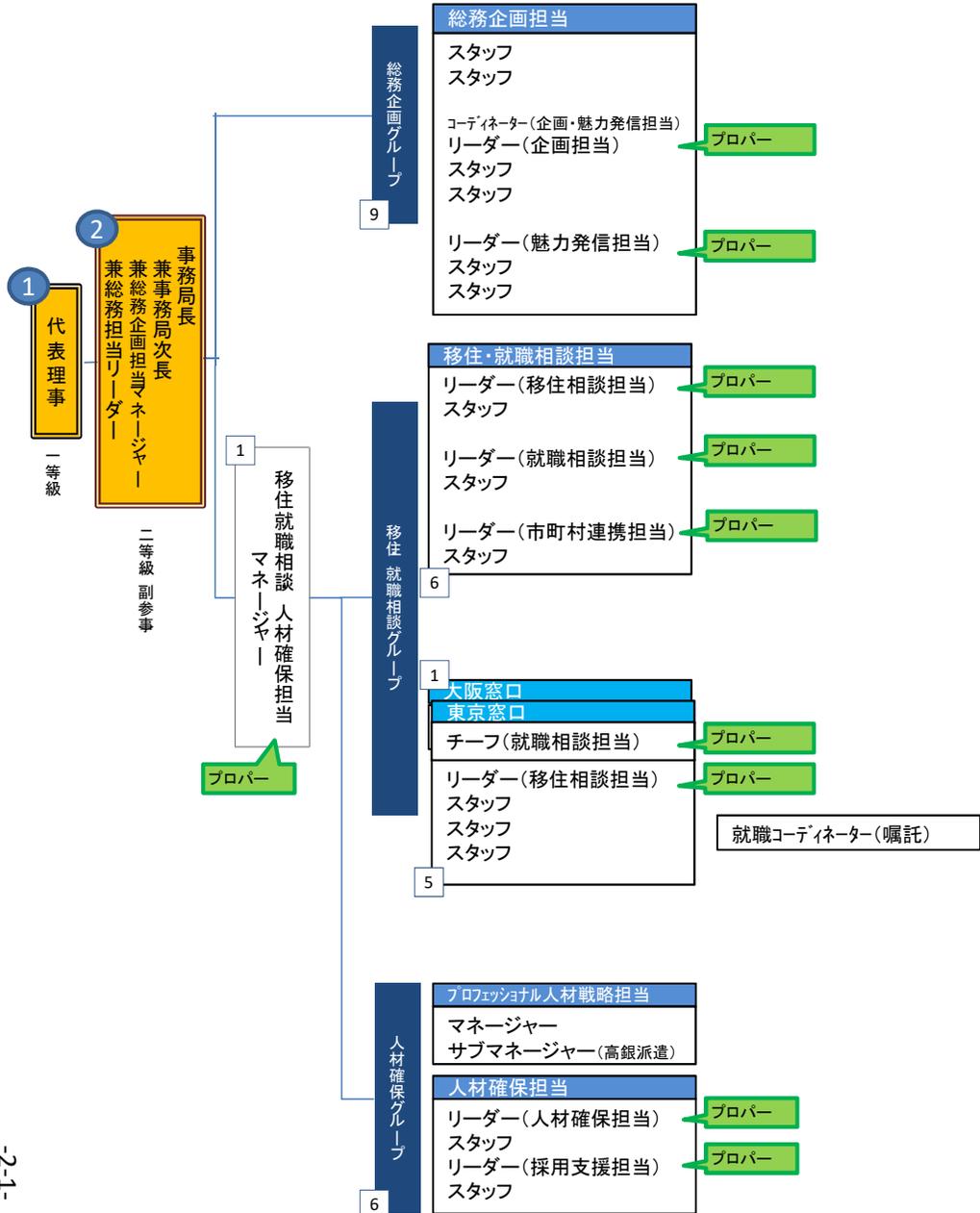
センターの名称変更に伴い、相談業務に従事する職員の通称を「UIターンコンシェルジュ」から「移住コンシェルジュ」に変更する。

組織再編図

組織再編図

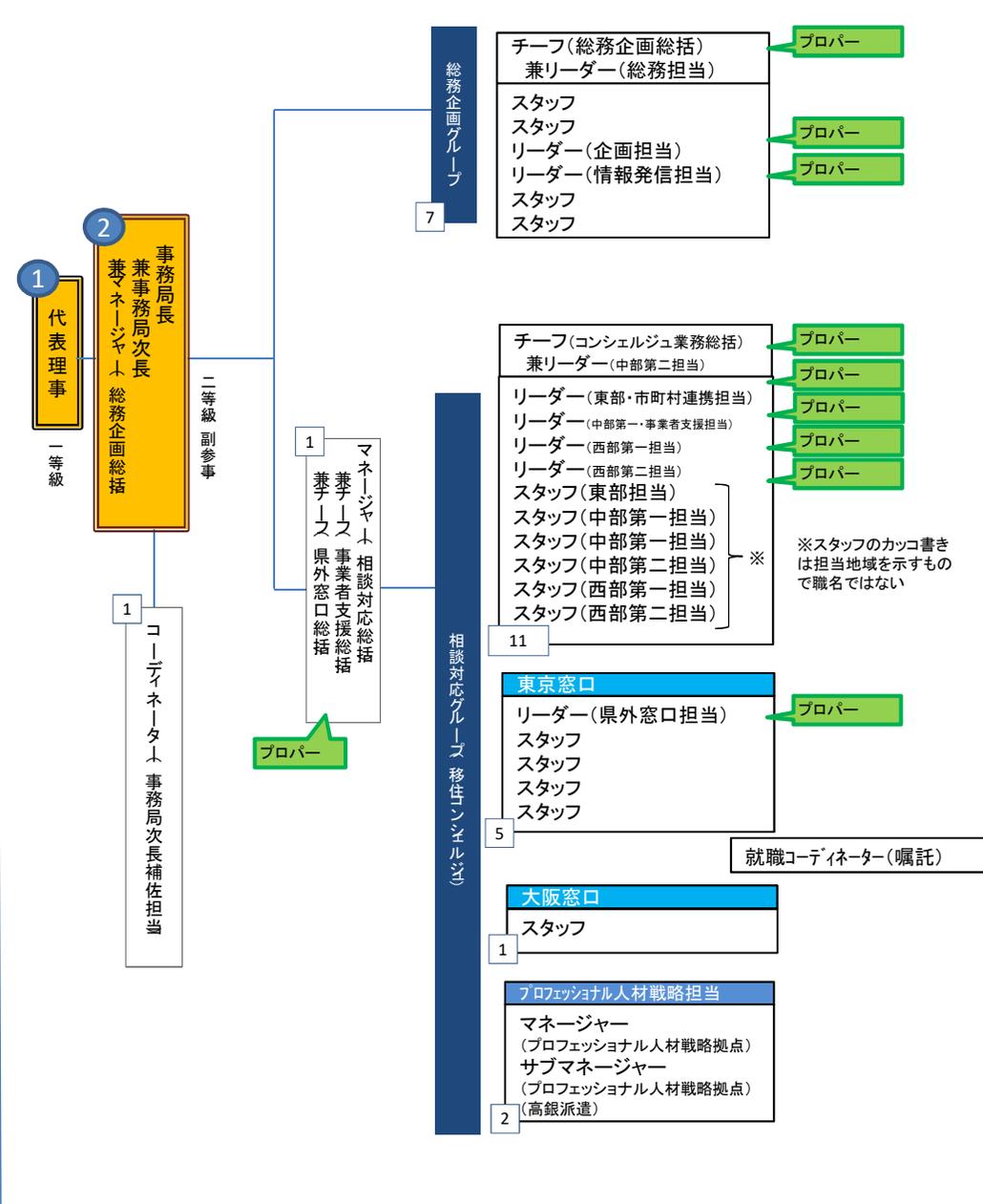
R4

30名
(センター28、県2)



R5

30名
(センター28、県2)



目指す姿 = 一言で言えば「金太郎飴」化

R5年度から

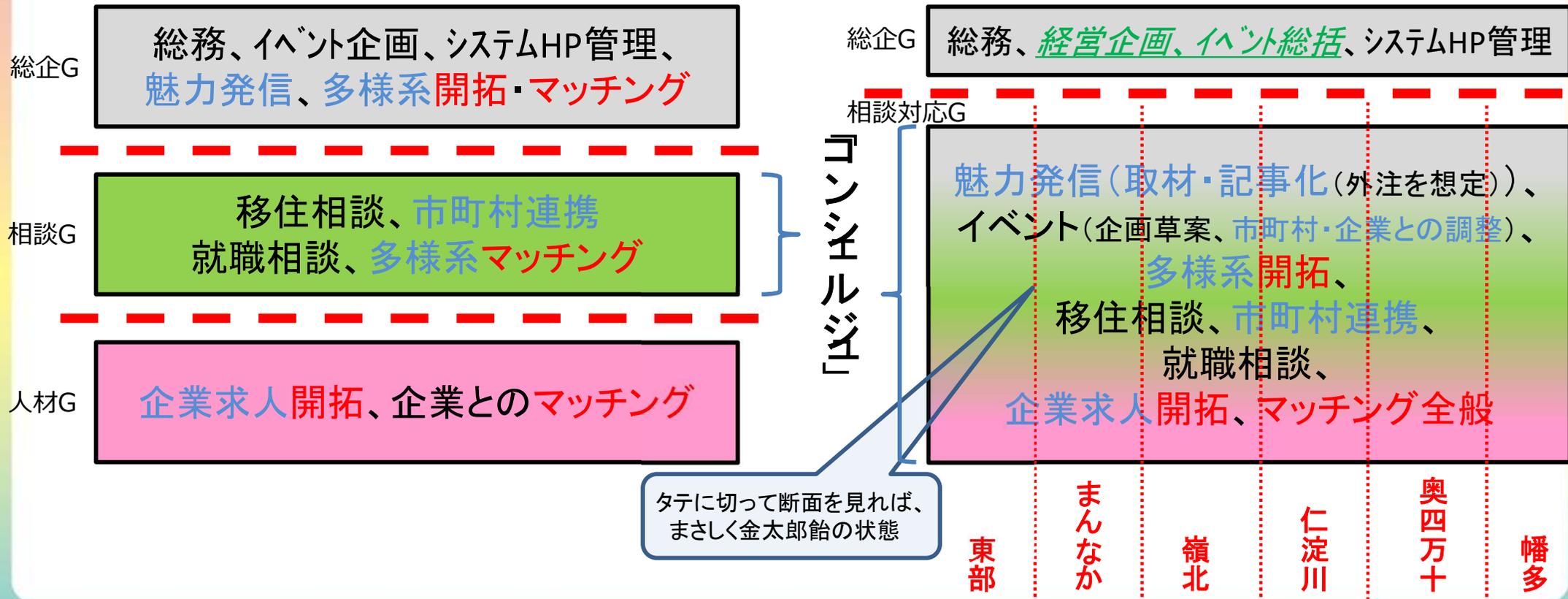
【これまで】

- ・「業務種別」を単位として分業
- ・都度都度の体制見直しの結果、**開拓**（仕入）や**マッチング**（セールス、成約）業務が各Gに分散
- ・各Gに対地域の情報収集業務（**多様系**（※）、**魅力的な人**、**市町村**、**企業**を相手とする仕入）があるが、分業ゆえにバラバラで行動

【目指す姿】

- ・マッチング機関の原点に立ち返り、相談対応Gに**対地域（仕入） & 対相談者（セールス、成約）**業務を集約する一方、総務企画Gは**経営管理機能**を強化
- ・相談対応Gは、「業務種別」でなく「**地域（=広域ブロック）**」を単位としてチーム分け
⇒ **地域密着型の業務推進体制**が整うとともに、**地域単位で完全ワンストップ化**が実現

2-2-



総務、イベント企画、システムHP管理、**魅力発信**、**多様系開拓・マッチング**

移住相談、**市町村連携**
就職相談、**多様系マッチング**

企業求人開拓、**企業とのマッチング**

総企G 総務、**経営企画**、**イベント総括**、システムHP管理

魅力発信（取材・記事化（外注を想定））、
イベント（企画草案、**市町村・企業との調整**）、
多様系開拓、
移住相談、**市町村連携**、
就職相談、
企業求人開拓、**マッチング全般**

タテに切って断面を見れば、まさしく金太郎飴の状態

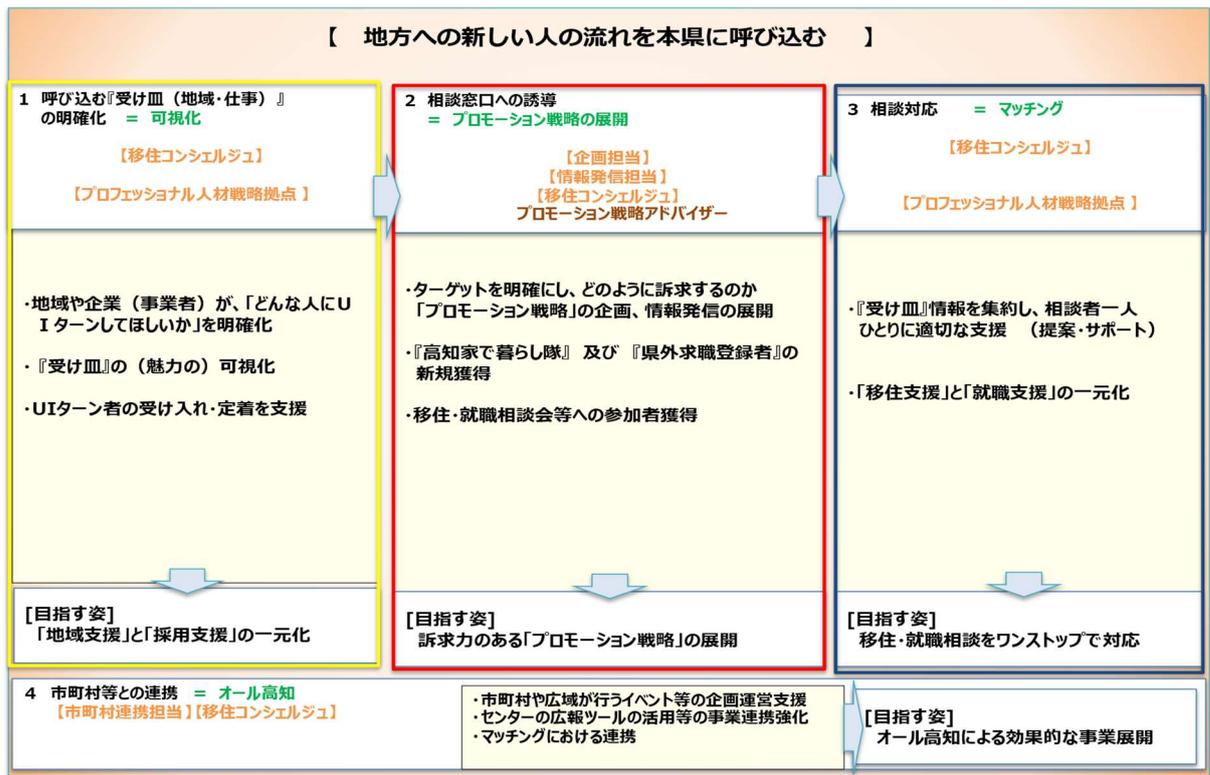
3 令和5年度の重点取組

第4期高知県産業振興計画 令和5年度 年間移住者目標：1,300組

コロナ禍を契機とする「地方への新しい人の流れ」を本県に、特に中山間地域に確実に呼び込むため、

- (1) UIターン者を呼び込む「受け皿（地域・仕事）」の明確化
- (2) 相談窓口への誘導
- (3) 相談者ひとり一人に寄り添った相談対応
- (4) 市町村等との連携強化

の4つの柱で、取り組みを一層強化する。



（1）UIターン者を呼び込む「受け皿（地域・仕事）」の明確化

①希望者が高知にUIターンしたくなる仕事や暮らしの可視化

移住コンシェルジュが、市町村や関係団体、事業者等と連携し、地域の多様な仕事を掘り起こすとともに、地域の魅力、人の魅力、仕事の魅力を訴求力のある形で可視化する。

②中山間地域の仕事の掘り起し及び可視化

特に、エリアごとに配置する移住コンシェルジュは、無料職業紹介を行う市町村と密に連携し、地域の事業者の人手不足の状況を把握し、求人情報として可視化するとともに、仕事や企業の魅力発信を支援する。

(2) 相談窓口への誘導（ターゲットに訴求するプロモーションの展開）

①ターゲットに訴求するための情報発信・プロモーションの展開

- 1) センターのポータルサイト及びSNSによる情報発信
- 2) 広域（市町村）単位のプロモーション活動を支援
- 3) メディア（広報媒体）を活用した情報発信
- 4) 移住検討初期層へのアプローチ

②相談会・イベントの充実

高知県へのU I ターンの関心を喚起し、行動を促すため、県外での相談会等を企画・運営するとともに、全国規模のイベント等に参加する。

また、令和5年度は、イベントなどに参加して高知暮らしに興味を持った者を相談という次のステップに確実につなげていくため、移住コンシェルジュと気軽に交流できる交流会等を実施し、対面での相談に対する心理的ハードルを下げる工夫もして行く。

- 1) 高知暮らしフェア（東京・大阪 各2回）
- 2) 就職・転職フェア（東京・大阪・名古屋 各1回）
- 3) オンライン就職・転職フェア（7月～9月・12月～2月）
- 4) 移住コンシェルジュ交流会等
（オンラインセミナー等14回以上・交流会5回以上・仕事×暮らしフェア in 岡山1回など）

(3) 相談者一人ひとりに寄り添った相談対応

相談対応グループや東京、大阪の窓口が連携して、本県の強みである「移住」と「U I ターン就職」の一体的な支援及び相談者に寄り添ったきめ細かな相談対応を充実する。

①移住相談

相談窓口来訪者やイベント参加者などセンターと接点があった者全員を顧客管理システムで管理し、全員に対してセンターから初回アプローチを行うとともに、一人ひとりの相談内容等に応じて、適切な支援を実施し、確実に移住につなげて行く。

②就職相談

県内企業等への就職を希望する相談者一人ひとりに、適切な求人提案を行うとともに、求職者と企業とのマッチング及びフォローを実施する。

(4) 市町村等との連携

①情報発信

市町村による、当センターの移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」を活用した情報発信を充実させるなど、地域の移住関連情報を「高知家で

暮らし。」で一元的に発信する。

②移住イベント等

広域単位で実施する移住相談会や移住体験ツアー等について、エリアを担当する移住コンシェルジュが支援する。

③中山間地域の仕事の掘り起こし及び可視化（再掲）

特に、エリアごとに配置する移住コンシェルジュは、無料職業紹介を行う市町村と密に連携し、地域の事業者の人手不足の状況を把握し、求人情報として可視化するとともに、仕事や企業の魅力発信を支援する。

4 令和5年度事業計画

(1) 移住・就職相談

常設の相談窓口を高知、東京、大阪に設置し、スタッフによるきめ細かなサポートを実施するとともに、市町村や関係団体との連携を強化する。

項目	令和5年度 目標	令和4年度目標(4年度実績/2月末)
移住組数	1,300組	1,225組(992組)
新規相談件数	5,400件	5,200件(3,669件)
暮らし隊新規登録	1,080件	1,040件(724件)

<センター相談窓口>

高知	こうち勤労センター5階(月～金)
東京	東京オフィス(月～金) 東京交通会館8階「ふるさと回帰支援センター」(火～日) 高知県アンテナショップ「まるごと高知」(月、祝)
大阪	高知県大阪事務所(月～金)

<各産業分野の相談窓口>

農業	高知県新規就農相談センター((一社)高知県農業会議)
林業	高知県林業労働力確保支援センター
水産業	(一社)高知県漁業就業支援センター
福祉	高知県福祉人材センター

<市町村の相談窓口>

移住相談窓口の設置	34市町村
専門相談員の配置	29市町村

① 移住相談

[令和5年度 支援者目標 : 高知家で暮らし隊新規登録者 1,080名]

体制を強化した相談対応グループを中心に、エリア担当の移住コンシェルジュが収集した、仕事や住宅、買い物事情や教育事情など、地域の様々な情報を駆使して、相談者に寄り添ったきめ細かな相談対応を実施する。

【高知家で暮らし隊会員へのフォローの状況】

	令和元年度	令和3年度	令和4年度(11月末)
入会人数	751	808(581)	475
フォロー人数	357	735(552)	417
フォロー回数	1,182	4,688(2,674)	1,951
平均フォロー回数	3.31	6.38(4.84)	4.68

※令和3年度の()は、11月末時点の数字

② UIターン者を呼び込む「受け皿(地域・仕事)」の明確化

1) 希望者が高知にUIターンしたくなる仕事や暮らしの可視化

エリア担当の移住コンシェルジュが市町村や関係団体、事業者等と連携し、訴求力のある働き方や暮らしを可視化する。

【目標】

可視化する 件数(年間)	地域の求人 (事業者)	求人以外 (継業、職人等)	地域の魅力	人の魅力	合計
	120件	60件	20件	20件	240件

2) 市町村や民間団体等と連携した住宅確保策の展開

- ・市町村や「空き家再生・活用促進専門家グループ」による空き家の掘り起し
- ・センターによるポータルサイトでの空き家情報の一元的な発信
- ・市町村が行う空き家の改修や移住者向け住宅の整備等を県が支援

(2) マッチング

① 就職支援

センターが収集した人材ニーズに加え、ハローワークや福祉人材センターなど、他機関が有する求人情報も活用し、UIターン希望者と仕事とのマッチングを支援する。

項目	令和5年度目標	令和4年度実績(2月末)	令和3年度実績
就職マッチング数	100件	77件	80件
新規求人登録件数	1,500件	1,772件	1,356件
新規求職登録者数	450件	237件	313件

※就職マッチング数及び新規求職登録者数はUIターン者のみを計上

【事業者支援】

- ・ 県内企業を積極的に訪問し、求人ニーズの把握を行い、求人を開拓
- ・ 新規求職登録者とのインテーク面談の実施
- ・ インテーク結果をもとに、支援方針の決定及び進捗管理
- ・ 県内企業の仕事の魅力や企業の魅力を訴求力のある形で発信
- ・ 就職・転職フェアを通じて企業の魅力を発信し、就職希望者との面談機会を増やす。

②プロフェッショナル人材戦略拠点(内閣府事業)

県内企業が競争力を発揮し、成長を実現するためには、経営課題の抽出・洗い出し、その課題を解決できる人材の確保が重要な手段となるため、センター内に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、産業振興センターや金融機関、関係団体等と連携しながら、県内企業のプロ人材の活用及び「攻めの経営」を後押しする。

項目	令和5年度目標	令和4年度(2月末)
副業・兼業を含めたマッチング件数	25件	17件
地域企業の経営課題に関する相談件数	100件	74件

(3) 情報発信事業

項目	令和5年度目標	令和4年度実績(2月末)	令和3年度実績
ポータルサイトセッション数 (高知家で暮らす+高知求人ネット)	900,000件	523,901件※	702,172件
「高知家で暮らし隊」新規会員登録	1,080件	753件	808件
県外新規求職者オンライン登録※	450件	284件	313件

※サイト誘導広告の見直しによる減
※新規求職者登録数は、UIターン者数のみを計上

本県で実現できる、人と人とのつながりの中で暮らす、豊かな自然を享受しながら働く、地域のきずなの中で子育てを行うなど、都市部と違う魅力的で多様なライフスタイルをはじめ、地域や仕事の魅力を都市部に向けて広く発信し、新規相談者の獲得につなげる。

①ポータルサイトによる情報発信の運営

移住を検討している者が必要とする情報を訴求力のある情報として発信するとともに、市町村等がポータルサイトを活用し、自ら地域の魅力あるコンテンツを掲載し、情報発信することで、新規相談者の獲得へつなげる。

- ・ イベント情報の更新
- ・ 空き家情報の更新
- ・ 働き方(仕事)情報
- ・ “地域”や“人”の魅力発信

- ・市町村や各産業分野のポータルサイトとの相互誘導の促進

②広域（市町村）単位のプロモーション活動を支援

各エリア担当移住コンシェルジュは、各広域（市町村）が行うイベントや情報発信に関する企画立案、実行を支援する。

広域	市町村
東部	東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市、芸西村
嶺北	大豊町、本山町、土佐町、大川村
まんなか	高知市、南国市、香南市、香美市
仁淀川流域	土佐市、いの町、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
奥四万十	須崎市、中土佐町、津野町、梶原町、四万十町
幡多	黒潮町、四万十市、土佐清水市、三原村、大月町、宿毛市

③メディア（広報媒体）を活用した情報発信

- ・全国WEBサイト（SMOUT、ピタマチなど）
- ・県内メディア
- ・全国メディア 等

④関係人口へのアプローチの強化

高知県の取り組みを全国に広く周知するために、県の施策と連携し、本県出身者や高知ファン等のUIターン潜在層との接点の拡大を図る。

- ・高知家プロモーションと連携したアプローチ
- ・WEB 会員組織「高知家ゆる県民倶楽部」会員へのアプローチ

（4）イベント事業

①高知暮らしフェア

地方への就職や移住を検討している都市部在住者や本県へのUターンを検討している県出身者等を対象として、県内の市町村や担い手を求める一次産業分野などが出展する移住フェアを開催する。

高知暮らしフェア（東京・大阪 各2回）	参加者 東京 200 組（夏）／180 組（冬） 大阪 170 組（夏）／150 組（冬）
---------------------	---

②就職・転職フェア

本県へのUIターン就職を検討している都市部在住者を対象に、就職相談会を開催することで、都市部から本県への人材の還流を図る。

高知就職・転職フェア（東京・大阪・名古屋 各1回）	参加企業 50 社（東京・大阪） 20 社（名古屋） 参加者 85 組（東京・大阪） 40 組（名古屋）
---------------------------	---

オンライン合同企業就職相談会（夏・冬）	参加企業 各回 100 社 参加者 各 50 組
---------------------	-----------------------------

③セミナー、交流会等

イベントなどに参加して高知暮らしに興味を持った者を相談という次のステップに確実につなげていくため、移住コンシェルジュと気軽に交流できる交流会等を、日々、相談者に接し、また、他県の動向も早期にキャッチできる県外窓口を中心に、企画・運営する。（年間 15 回以上）

また、本県出身者を対象とした「こうち仕事・暮らし相談会（仮）」を高校卒業後の進学者が多い岡山市において開催する。

（5）人材育成事業

相談業務等に活かせる高度な知識とスキルの習得するために、センター職員の研修を実施する。

また、市町村の移住相談員の人材育成を図るための研修や民間の移住支援団体と連携した活動を実施する。

①センター職員の研修

相談業務等におけるスキルの向上を図るため、「キャリアコンサルティング」に関する実務研修を実施する。

また、プロモーションやSNSなど情報発信ツールの活用に関する能力開発を図るための研修を実施する。

②市町村相談員等の研修

都市部在住の「地方暮らし関心層」への訴求力のある情報発信力を高めるための研修を実施する。